

令和4年度事務事業評価（令和3年度事後評価）

総務部

所属名	事務事業名	ページ番号
人事課	市職員採用試験	2
人事課	職員への健康管理事業	3
人事課	厚生会事務	4
人事課	人事管理事務経費（新型コロナウイルス緊急雇用対策関係）	5
人事課	職員駐車場管理運営事業	6

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市職員採用試験	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	人事課 人事係	担当課長名	池田 武志
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	35職員の資質向上による業務執行体制の充実	
	基本事業	人事・組織の適正管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筆記試験、面接試験等を実施することにより、受験者が職務遂行能力や職の適正を有するかどうかを判定し、優秀な人材を採用する。				
事業の対象者	佐賀市職員への就職を希望する者				
令和3年度 主な活動実績	採用試験【一般事務A・B・土木（上級）・保育士】1次試験～3次試験 採用試験【薬剤師・放射線技師・臨床検査技師・障がい者対象・作業員（技能労務職）一般事務（心理士）・保健師】1次試験～2次試験 採用試験（社会人経験者枠）1次試験～2次試験 採用試験（任期付職員）1次試験～2次試験				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,269	5,868			
うち佐賀市の負担額	6,269	5,868			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
試験受験者						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
904	1,000 689	1,000	1,000	1,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	1次試験の辞退率を下げるため、申込書時に自己アピールを添付するよう変更したところ、申込者数が減少し、それに伴い受験者数も減少した。（辞退率については、減少した）



成果目標達成に向けた対応策等
募集内容に応じた対象学生に対して試験内容について、学校を通じて周知を図る。 就職支援サイトや就活セミナーなどをとおして、佐賀市及び佐賀市職員の魅力を伝える。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	職員への健康管理事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	人事課 人事係	担当課長名	池田 武志
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	35職員の資質向上による業務執行体制の充実	
	基本事業	人事・組織の適正管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	職員の疾病予防及び早期発見のため、健康診断及び相談事業を実施する。また健康診断等の結果から、保健指導や精密検査等の受診が必要な職員に対する指導を行う。				
事業の対象者	全職員				
令和3年度 主な活動実績	職員定期健康診断 822人、会計年度任用職員定期健康診断 920人、 職員雇入時健康診断 43人、会計年度任用職員雇入時健康診断 98人、 職員子宮頸がん検診 44人、職員乳がん検診 24人、 特定化学物質・有機溶剤健康診断 10人、ストレスチェック 2,075人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	20,336	16,941			
うち佐賀市の負担額	17,530	14,125			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
職員健康診断または人間ドック受診者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
99.81	100 100	100	100	100		

年度	目標	実績
R2	100.0	99.81
R3	100.0	100.0
R4	100.0	100.0
R5	100.0	100.0
R6	100.0	100.0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0.0	0.0
R3	0.0	0.0
R4	0.0	0.0
R5	0.0	0.0
R6	0.0	0.0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	健康診断の日程を例年より早めに設定。安全配慮義務の観点から所属長へも理解を求め、各所属ごとに受診の徹底を図った。



成果目標達成に向けた対応策等
健康診断の未受診者対策にあたっては、今後も継続して働きかけていく。さらに、健診結果で精密検査や保健指導が必要な職員に対するフォローを行い、職員の健康度向上に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	厚生会事務	事業期間	昭和 53 ~ 年度
担当部署・係名	人事課 人材育成係	担当課長名	池田 武志
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	35職員の資質向上による業務執行体制の充実	
	基本事業	人事・組織の適正管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	職員の健康増進及び元気回復を目的として設置する職員厚生会に対し、市は負担金を支出する。職員厚生会は会員掛金と市など事業主からの負担金を主な収入とし、意思決定機関である評議員会で職員の福利厚生のための事業を決定し、実施している。				
事業の対象者	全職員（厚生会会員）				
令和3年度主な活動実績	厚生会において、職員の福利厚生事業を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24,943	25,072			
うち佐賀市の負担額	24,943	25,072			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
福利厚生事業の利用者の人数（延べ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
25,667	26,510 9,876	27,370	28,280	29,240		

成果指標②						単位
委託事業サービスの実利用数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
710	760 695	810	860	910		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	R3年度に委託業者を変更したため、利用方法を含め会員への周知徹底に努めたが、利用者数は減少した。コロナ禍で旅行等の利用減が大きな要因と考えられるが、代替となるサービス拡充ができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も、多くの会員が利用しやすいよう、独自事業（スポーツ大会等）については事業内容の見直しも含めて検討していく。委託事業については、利用していない会員への利用促進に努め、業者へはサービス拡充を協議していく。

令和4年度 事務事業実績報告シート

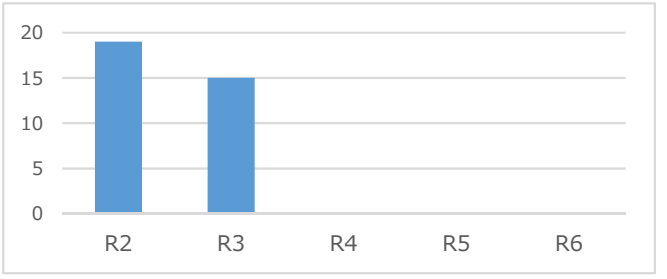
事務事業名	人事管理事務経費（新型コロナウイルス緊急雇用対策関係）	事業期間	令和 2 ～ 令和 3 年度
担当部署・係名	人事課 人事係	担当課長名	池田 武志
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	35職員の資質向上による業務執行体制の充実	
	基本事業	人事・組織の適正管理	

1 事務事業の基本情報

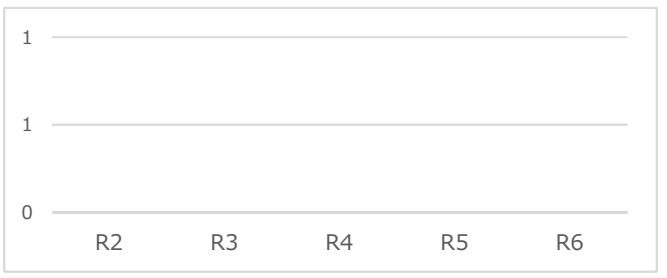
事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の影響により失業された方や内定を取消された方などを対象として、市の会計年度任用職員を募集することにより、市の職員体制の充実と失業者等の就業機会の確保を目的とする。				
事業の対象者	新型コロナウイルス感染症の影響により失業された方や内定を取消された方				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	17,162	18,553			
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
雇用人数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
19	15				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和2年度から令和3年度にかけて、会計年度任用職員登録試験（随時）に併せて募集し、概ね採用につながった。当初の事業目的を達成していることから、当該事業は令和3年度を以って終了する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	職員駐車場管理運営事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	人事課 人材育成係	担当課長名	池田 武志
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	35職員の資質向上による業務執行体制の充実	
	基本事業	人事・組織の適正管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	自動車で通勤する本庁等勤務職員に対し、駐車場を提供及び管理運営し、その利用料を徴収する。駐車場収容台数189台。出入口2箇所に開閉チェーンを設置し、駐車場利用者には専用のリモコンを貸与する。センサー付きの照明灯6基設置。 受益者に対し応分の負担を課し、普通財産の有効活用を図る。				
事業の対象者	本庁等通勤職員（会計年度任用職員含む）				
令和3年度 主な活動実績	職員駐車場の管理運営（利用開始・解約の受付・処理、維持管理、修繕等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,744	1,758			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
駐車利用台数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
189	189 189	189	189	189		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	空き駐車スペースが発生しないように努め、達成できた。ゲートの更新、照明タイマーの更新を行い、利用者の安全性の確保に努めた。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・空き駐車スペースが発生しないようにするため、利用の解約・開始の手続きを円滑にすすめる。 ・今後も、不法駐車、不審車両、ごみの不法投棄をなくし、また照明等設置する等安全性を確保し、職員駐車場利用を促進する。